

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		母子保健事業費 [育児学級]							
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	母子保健事業費	事業番号	3	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独		<input type="checkbox"/> 補助対象	<input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市上乗せあり)					
担当部署・課長名	健康 課 保健				係	課長名	志村 明子		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 1		
【施策名】 保健・医療の充実						総合計画書 (ページ)	47		
1 この 仕 事 の 目 的	① 誰(何)を対象にしていますか。 主に乳児健診後の支援を要する母子(1歳3か月まで)			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 乳児健診受診の結果から、グループ支援による育児支援が有効と考えられ、保健師からのお誘いにより参加のあった母子					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 初めての育児に不安のある母が、地域での仲間づくりを通じ、また専門職からの助言を元に乳幼児の発育発達等を理解することで不安を解消して子育てができる。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加者数					
	③ そのために何をしましたか。 ①3~4ヶ月健診のアンケート内容から育児不安、疑問の多い母親に対し、個別に電話相談を行い、また、離乳食講習会への参加の際にグループへの参加を案内。 ②事前・事後カンファレンスを実施。 ③離乳食の見本を提示する会を2回実施。 ④参加児の月齢や季節に応じて、また、参加者からの疑問を主体としたグループワークを実施。 ⑤保育士の専門性を生かした手遊びなどの実施。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①年間8回の開催(新型コロナ緊急事態宣言のため2回休止) ②1回当たりの実施時間(カンファレンス含む) 3時間					
	2 指標の推移	対象指標		①の数値	過去2年間の実績 平成30年度実績 5組10人	当該年度 平成31年度実績 8組16人	3組7人	令和3年度目標	令和4年度目標
成果指標		②の数値	24人	42人	27人				
目標		②の目標値 目標値設定の考え方 参加者数に対し不安が解消された人の数	人	—	—	—			
活動指標		③の数値	回	8	7	6			
3 経費	事業費(実績)		円	86,425,795	82,430,586	85,320,713	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	一般財源		円	73,886,741	69,141,367	66,222,206			
	特定財源(国・都・他)		円	12,539,054	14,289,219	18,747,201			
	(うち受益者負担)		円	0	0	351,306			
	人件費(自安)		人	0.1	0.1	0.1			
	所要人数(再任用)		人	824,400.0	831,000.0	838,000.0			
	職員人件費(再任用以外)		円						
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	86,425,795	82,430,586	85,320,713				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成9 年度						
	(2) 環境の変化		対象としている母子に大きな変化はない。新型コロナ感染症の影響で、社会とのつながりを持てず、十分な支援の場が少ないと感じたため、感染症対策を取りながら実施した。						

事業名称	母子保健事業費 [育児学級]				
担当部署・課長名	健康	課	保健	係	課長名 志村明子

5 市民等の意見	<p>この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について</p> <p>参加の母からは、家を出て他の母子や専門職と話すことができる場があるのは不安の解消になり助かり、社会とも繋がれるのでありがたい、とのご感想を頂いている。</p>							
	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 取り組んだ</td> <td>取組手法：</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない</td> <td>【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</td> </tr> </table>					<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない
<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：							
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）							
6 市民協働	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点							
7 課題	<p>(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）</p> <p>引き続きグループとしての相互作用を発揮した会の運営が継続できるよう、支援を要する対象者が産後早期の個別支援からグループ支援の利用へと繋がれるよう他事業、地区担当と連携していく。</p>							
	<p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。</p>							
	<p>主には乳児健診の結果から、その後の支援として育児学級の参加を勧めたり、離乳食講習会参加時にもお誘いをした。また、参加者が2~3組定着したこと、グループとしての機能が発揮でき、更なる継続参加へと良い効力が得られている。</p>							
	<p>(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）</p> <p>新型コロナ感染症の影響による、新しい生活様式の中でも育児支援事業の一つとして、対面グループでの交流・相談の機会を維持できるよう、感染症対策を講じながら、安心して参加して頂ける会の運営を実施する。</p>							
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）								
<p>施策名：保健・医療の充実</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）</p>								
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>【取組内容】</p> <p>乳児健診以外の事業（新生児訪問・計測・離乳食講習会・隨時相談）の場も活用し対象者を把握し、乳児期早期からの参加を勧めていく。</p>							
	<p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等</p> <p>各事業の場面において、個別かつ丁寧な対応が課題。そのための職員のスキル習得が必要である。</p>							